

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 14010040

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	3	国保病院事業会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	A		
単位施策	5	地域医療体制維持の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	医療従事者確保対策事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	14 国保病院・老健施設		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	安定した医療を提供する病院施設		関係課	#N/A		
事業目標	1施設		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加 住民協働	有	国保病院運営委員会	関係例規・法令名			
			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	●医療従事者確保対策 ・求人依頼、面談 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載	・求人依頼、面談旅費 ・広告掲載
	事業費(千円)	2,560	500	515	515	515
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	2,560	500	515	515	515	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,216	0	1,216	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0	0			
	道支出金	0	0			
	地方債	0	0			
その他	0	0				
一般財源	1,216	0	1,216	0	0	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※対象事業について実績なし	求人依頼、面談旅費、広告掲載 ※対象事業について実績なし	※対象事業について実績なし	・ホームページ及び ハローワークによる求人 ・関係機関への要請
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 B-維持/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	1施設	1施設	1施設	1施設
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	0%	236%	0%	0%
	全体達成率	0%	48%	48%	48%	
	備考欄					

事業名	医療従事者確保対策事業	評価者 管理職 職氏名	国保病院事務長	高橋 健仁
		評価者 作成者 職氏名	国保病院事務次長	河原 学

様式1  
平成28年度実施  
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	看護師等の医療技術職員の確保が極めて困難な状況になっており、適時適切な職員採用が求められる	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	病院として求められる機能維持のために必要とされる医療技術職員の適切な確保	① 医療技術職員	目標年度 平成28年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町民に対して、安心感のある良質な医療サービスの提供		目標値 1人
			実績値 0人
			達成度 0.0%
		②	目標年度 平成28年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	関係機関等への要請	平成28年度の予算支出実績なし(ホームページ及びハローワークによる求人)	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	医師以外の医療技術職員の必要数確保は、病院機能の維持において必要となる事業である
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	今年度も予算の支出を伴わず維持できたところであるが、不定期に欠員が生じる可能性も常に考慮して置かなければならず、その対応のため本事業の有効性は高いものである
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input type="checkbox"/>	判断の理由	予算支出を伴わなかったため、効率性については特に支障がないものである
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	医療技術職員の確保を図ることにより、町民全体に適切な医療サービスの提供につながるものであることから、公平性には特に支障がないものである
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>B</b>		
事業執行において予算支出を伴うことなく、維持することができたが、応募案件がなかったことから、募集内容及び方法等を検討する必要がある		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
医療技術職員の確保は、病院機能維持のために不可欠な要件であるため、引き続き必要性を含めた適切な配置体制の確立が必要である		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止